

# 特別支援学校 市内設置早急に！ 県の計画案100人規模！

週刊  
市議会報告  
日本共産党

2017年7月31日

第1423号

【発行】

日本共産党  
浦安市議団

☎ & F A X  
047-350-1243



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
☎355-8526  
minamotonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
美勢麻里

北栄 2-3-16-203  
☎354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp

浦安市内に特別支援学校が一枚もないため、障がいのある子ども達は県内や都内への通学を余儀なくされています。日本共産党は、保護者から特別支援学校市内設置の要望を受け、市や県に繰り返し強く求めてきました。今年6月に市内設置が条件付きで可能となる計画が、千葉県教育委員会の特別支援学校の整備計画案に示されました。

## 市外の学校へ通学

浦安の特別支援教育は、市内の小中学校の通常学級や特別支援学級を希望する保護者が多いのが特徴です。

しかし、市内に高等部が無いため、中学卒業後は、主に県立市川特別支援学校へ通学し、障がいの種別などで都内に通学している生徒もいます。

今年度は近隣の特別支援学校へは89名の児童生徒が通学しています。(下表参照)

高等部の通学の基本は公共機関を使う自力通学ですが、障害が重く自力通学が困難な生徒は、小中学生と一緒に通学支援バスを利用して登下校しています。

日本共産党は送迎バスについても増便を何度も求め実現してきましたが、バス停や時間帯などの要望がありますし、東日本大震災で帰宅困難を体験し、改めて市内設置が求められています。

## 既存施設の活用で実現！

千葉県教育委員会が6月に公表した2017年度から2021年度までの5年期間となる特別支援学校の整備計画案には、100人規模の新設校等として浦安市内も対象となっています。

計画には「小中学校等の使用しなくなる校舎等」と明記され、市内の施設活用が早期実現のカギとなることから、6月議会にて日本共産党は、

閉校した入船北小学校を活用し早期設置するよう改めて求めました。教育総務部長は「県の計画がパブリックコメントを経て策定され次第、県と協議し市内早期設置を積極的に働きかけていく」「施設等を含めて県と協議していく」考えであることを明らかにしました。

近隣特別支援学校への通学状況

学校名	住所	障害種別	学部	状況年月	通学者数	バス	自力通学	保護者送迎	訪問指導
市川特別支援学校	市川市原木1862	知的障害	小	2016年5月	66人	49人	16人	1人	—
			中	2017年5月	59人	48人	8人	3人	—
船橋特別支援学校	船橋市上山町3-507	肢体不自由	小	2016年5月	6人	3人	—	1人	2人
			小	2017年5月	11人	7人	—	2人	2人
船橋夏見特別支援学校	船橋市夏見台5-6-1	肢体不自由	中	2016年5月	6人	6人	—	—	—
			高	2017年5月	4人	4人	—	—	—
市川大野高等学園	市川市大野町4-2274	知的障害	高	2016年5月	22人	—	22人	—	—
			高	2017年5月	15人	—	15人	—	—

# 特別支援学校

左表は、県の計画案を抜粋したものです。

障害種別	活用する予定施設等と設置する規模(人)	設置形態	設置学部	対象校	
知的障害	市川特別支援学校	30人	増築	小・中高	市川
	学区内の小・中学校等の使用しなくなる校舎等	100人	新設等	小・中高	市川

## 地域で暮らし学び 発達する保証を

2007年4月に特別支援学校として学校教育法に位置付けられています。浦安市議会では、2005年3月議会にて、日本共産党が発議提案した「浦安市に県立養護学校の分校の設置を求める意見書」が可決されています。

浦安市立の小中学校の特別支援学級や通常学級では、障がいのある児童生徒の在籍数が年々増加傾向にあります。障がいをもつ子どもたちが地域で暮らし学びながら発達する権利を保障するために、特別支援学校を地域に整備し

特別支援教育の拠点とするこ  
とがますます求められていま  
す。

## 学校の過密化 深刻な問題

浦安市から一番近い市川特別支援学校は、東西線浦安駅から原木中山駅で下車し、入り組んだ道を約1.1km歩きます。

市川特別支援学校では、120名程度の定員の施設に、2017年度は221名受け入れられているため教室が足りません。

県はこれまで、特別支援学校で普通教室が足りなくなる  
と、音楽室や図書室などの特別教室等を転用し、やっとな  
レハブ校舎が設置されても過  
密化が解消されるにいたつて  
いません。

そのため、本来は1学級で使用  
する普通教室を2学級合同で  
使用するなどとしてきた

特別支援学校整備事業内容			
市川特別支援学校	作業棟増築	2100万円	実施設計等
学校敷地内に作業棟を増築し、既存校舎の作業室を普通教室に改修する。			
30人規模に対応 2019(H31)年供用開始予定			

ため、教育活動に支障がでる  
など深刻な状況が生まれてい  
ます。

## 浦安市内に 早急に新設校を！

千葉県議会6月議会に、市川特別支援学校の作業棟を増築し、既存校舎の作業室を普通教室に改修するための実施設計等の補正予算が2100万円計上されています。

30人規模に対応するとして、2019年供用開始の予定です。(左上表参照)

浦安市内も対象となっている100名規模の新設校が整備されなければ、過密化解消とはなりません。

日本共産党は引き続き、早急に市内設置をするよう求めます。



市川特別支援学校の校舎前に通学バスが4台待機中



放送室が作業室に転用中